



# 大船渡労基署ニュース

盛夏の候 大船渡労働基準監督署 署長 渡辺 幸輝

梅雨も明け、いよいよ夏本番という季節になりました。今年は海水浴場のオープンも相次ぎ、いつもの夏に戻りつつありますが、新型コロナウイルスもまだまだ心配です。私事ですが、大船渡市からワクチン接種券が早く届いたこともあり、岩手県の集団接種会場でワクチンを打つことができました。ワクチン接種についてはこれからさらに進むと思われますので、希望する人がワクチン接種することで、早く日常生活に戻ることを期待しています。

さて、先日今年度の労働保険年度更新の期間が終了しました。手続きにご協力いただいた方々に感謝申し上げます。労働保険は労災保険と雇用保険を合わせた総称で、労災保険では、いろいろ要件はありますが、無災害であれば保険料が引き下げられ、逆に災害が多いと保険料が上がる「メリット制」というものがあります。労働災害防止活動に携わっている人でメリット制を気にされている方はそれほど多くはないと思いますが、労働災害防止活動の成果が労働保険料に反映されることは取り組みの励みにもなると思います。あらためて、無災害を意識して労働災害防止活動を積極的に推進していただければと思います。一緒に頑張りましょう！ご安全に！

## 「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」が展開中です

### STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

### 令和3年5月～9月

#### 熱中症予防対策の徹底を図ろう

## オンラインセミナーのご案内

労働者や事業主、人事労務担当者などを対象に、「安心」して働くための労使をつなぐルールである「労働契約」について、基本的な事項をわかりやすく解説する**無料のオンラインセミナー**が開催中です。期間は**9月中旬まで**となっており、毎月10回以上開催されているので、労働関係法令の基礎を確認したい、再確認したいといった方は是非参加してみてください。FAXでの申込用紙は当署にも用意しているので、ご利用ください。

<b>対象者</b>	どなたでもご参加いただけます (労働者、事業主、人事労務担当者など)	<b>各回先着 100名</b>	<b>セミナー内容</b>	① 労働契約法をはじめとした労働関係法令の基礎
				② 無期転換ルール
<b>セミナー時間</b>	午前の部 セミナー 10:00～12:30 個別相談会 12:30～13:30	午前・午後の部は どちらも同じ内容のため、 ご都合の良い回にお申込みください。 また、個別相談会を希望される方も 事前申込みをお願いします。	<b>申込方法</b>	③ 副業・兼業の促進
	午後の部 セミナー 14:00～16:30 個別相談会 16:30～17:30			④ 専用webサイトへ <a href="https://public.lec-jp.com/laborContractExplanation/">https://public.lec-jp.com/laborContractExplanation/</a>

LEC 労働契約等解説セミナー

お問い合わせ先 厚生労働省委託事業「労働契約等解説セミナー2021」運営事務局 株式会社 東京リーガルマインド **LEC東京リーガルマインド**  
〒164-0001 東京都中野区中野4-11-10 アーバンネット中野ビル TEL: 03-5913-6085(平日9時～18時) E-Mail: working-time@lec-jp.com

## 新型コロナウイルス関係

8月はお盆の帰省やオリンピックなどで人の動きが増えることが予想され、私生活での感染予防には今後さらに注意しなければなりません。また、コロナウイルスに感染してしまうと、仕事も休まなければならない、労働者にも企業にも損失が発生してしまうため、各企業での感染症対策も引き続き徹底する必要があります。職場での感染対策については、厚生労働省が作成している、「**職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト**」の内容が更新されたので、チェックリストを使って自社の取組を確認してみてください。

また、暑い日もまだまだ続きますので、業種に限らず、コロナ禍での熱中症対策にも引き続き注意してください。

職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト

1. 1. 出勤前(出勤前)に、換気(1時間以上)と換気(2時間以上)を実施し、換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。

2. 2. 換気(1時間以上)と換気(2時間以上)を実施し、換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。

3. 3. 換気(1時間以上)と換気(2時間以上)を実施し、換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。

4. 4. 換気(1時間以上)と換気(2時間以上)を実施し、換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。

5. 5. 換気(1時間以上)と換気(2時間以上)を実施し、換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。

6. 6. 換気(1時間以上)と換気(2時間以上)を実施し、換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。

7. 7. 換気(1時間以上)と換気(2時間以上)を実施し、換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。

8. 8. 換気(1時間以上)と換気(2時間以上)を実施し、換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。

9. 9. 換気(1時間以上)と換気(2時間以上)を実施し、換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。

10. 10. 換気(1時間以上)と換気(2時間以上)を実施し、換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。換気不足による感染のリスクを低減する。



# 労働災害の発生状況のお知らせ

## 令和3年6月末現在速報値

休業見込4日以上労働災害の件数です

	今年	前年同期比
製造業	5人	-4人
建設業	13人	+2人
運輸交通業	2人	-2人
林業	6人	+3人
畜産水産業	2人	+1人
商業	3人	-4人
通信業	0人	-2人
保健衛生業	4人	+2人
接客娯楽業	0人	-4人
その他業種	3人	+2人
合計	38人	-6人

### 上半期

全産業における死傷者数は38人で、前年同期比で6人(13.6%)の減少となっています。ただし、近年約20年間で見ると、多少の増減はあるものの横ばい推移となっています。また、死亡者数は2人で、2月に建設業、4月に林業で発生しました。おもな業種別の状況は左記のとおりです。

事故の型別にみると、「転倒」が39.5%と最も多く、次いで「墜落・転落」が13.2%、「切れ・こすれ」「動作の反動・無理な動作」が各10.5%、「激突」が7.9%などとなっています。

その他の特徴として、年代別にみると50代以上が全体の2/3を占めていること、経験期間3年以下が全体の1/3を占めていること、製造業は過去最少で、製造業のうち食料品製造業も2人と過去最少となっていること、建設業は2年連続で増加しており、とくに建築工事業は7人と前年同期比で2倍以上となっていること、林業も6人と前年同期比で2倍となっていること、も見られます。

労働災害を発生させないためにも、基本的な安全ルールを守るとともに、危険予知を行いながら仕事を進めることが大切です。また、「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン)に基づく災害防止活動、経験の浅い労働者への十分な安全教育の実施なども進めていきましょう。

### 建設工事の関係者が集いました



6月29日、大船渡魚市場において、気仙地域の公共工事発注機関、業界団体、労基署が集まり、「気仙地域建設工事関係者連絡会議」を開催し、労働災害防止への情報共有、統一的取組の確認などをおこないました。

<災害事例> 杉Aを伐倒したところ、先に倒れていた杉Bに当たり、杉Bの木口が飛び跳ねて伐倒者に当たった。(骨盤骨折)

<災害事例> 手押しかな盤作業で一時的に2人作業から1人作業になった中、1面が終わり別面作業のため角材を引き戻す際、安全カバーで引っ掛かり、手が滑って刃先に触れた。(指欠損)

## 今月の労働災害防止について(連載)



### 人間の特性を理解した災害防止への向き合い方

ヒューマンエラー

人間はミスをする生き物です。人間のミスだけに責任追及するのではなく、人間のミスが起こることを前提とした管理をしていくことが大切です。(手すり、柵、カバーなど)

また、人間のミスを防ぐ方法としては、それぞれのエラーに向き・不向きな対応方法がありますので、「教育」「その場で指摘(巡視時)」など、日頃から複数の取組みを継続的に行うことが有効です。



#### 【ヒューマンエラーの12分類】

1. 無知、未経験、不慣れ	7. 場面行動本能
2. 危険軽視、慣れ	8. パニック
3. 不注意	9. 錯覚
4. 連絡不足	10. 中高年の機能低下
5. 集団欠陥	11. 疲労等
6. 近道・省略行動本能	12. 単調作業等による意識低下

見えてる？見えてない？

人間の視野は、広い範囲が見えているように思いますが、本当によく見えている範囲はほんの一部しかありません。

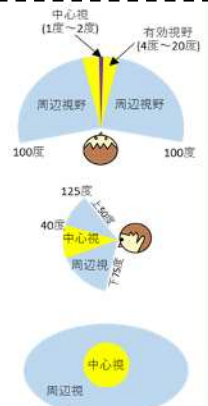
人間の視野は、左右それぞれ100度くらいありますが、物の形や色などハッキリと確認できるのは、焦点を当てた注視点からほんの1~2度程度の範囲にすぎません。この範囲を「中心視」といいますが、この中心視で標識の文字を読んだり、特定の物や出来事に注目する場面で活用しています。

また、中心視のまわりでほぼ明瞭に認識できる範囲を「有効視野」といいますが、この範囲も約4~20度の範囲に限られています。

それ以外の範囲は、「周辺視」と呼ばれており、ここでは物の形や色などは明瞭には認識できません。

このように、私たちの視野ははっきりと認識できる範囲は非常に狭いということを認識しておかなければなりません。また、この周辺視野では、動くものについては認識しやすいのですが、動かないものについては認識しづらいという特性があります。

また、周辺視の機能は加齢とともに低下することもわかっています。とくに、65歳以上の人は、周辺視野の端にあるものを発見する能力が急激に低下するので注意が必要です。



### つまり、指差呼称は、対象物に中心視を向けて行うことが有効

(流れ動作ではなく、少し立ち止まるくらいでするとより有効)

考えてる？

人間の脳は普段、全体の3%程しか使われていないと言われていています。脳による意識的な思考や行動が3%程度だとすると、残りの97%は「無意識」、いわゆる「ぼんやり」した状態であり、普段そのような状態で活動をしていることとなります。つまり、私たちが意識的に考えたり感じたり、行動している部分より、無意識の部分の方がはるかに大きいということです。



この97%の無意識状態の中で身体を動かしたり道具を使用したり機械を操作したりする際には、ミスをする可能性も高くなりますので、意識を高めて行動することが大切です。